

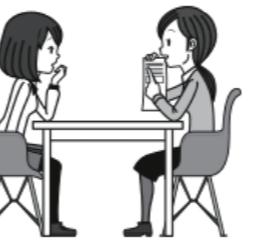
サポートセンターはどこへ行く？『前』

町政を考える会 代表 村端 浩

はじめに

「広報いけど4月号」に
「町民活動サポートセンター」についての記事が掲載さ
れました。

地域おこし協力隊員が運営
にあたることの企画は、「能動
的に地域に出て」さまざまな
町民活動を支えるというので
すから、一見フレッシュな印
象を与えます。



しかし、このサポートセン
ター設立から今日までの経過
をたどれば、この記事には強
い違和感を抱かざるを得ませ
ん。

今号と次号にわたって、そも
そも「サポートセンター」は
どのような経過でつくれられ、
どのように至っているのか、根本
に戻つて検証し、今後の方向
をも考えてみたいと思いま
す。

前町長とサポートセンター

①サポートセンターの始まり

今から7年前の平成22年、
役場内では前町長の肝いりで
「サポートセンター・プロジェクト」
が作られ開設場所や予算なども協議され
て、同年6月M氏を事務局と
する「準備室」が開設されま
した。その後一定の準備期間
を経て、9月には10名の公募
委員を含むサポートセンター
運営協議会が設置され議論を
開始しました。

そこで話合いの中心は、

町民活動サポートの新しい形

を構想することにあり、町民
を計画段階で处罚する
「共謀罪」の趣旨を盛り込ん
だ組織的犯罪処罰法の改正案
が4月19日、衆院法務委員会
で実質審議入りしました。

共謀罪法案実質審議入り 「金田法相隠し」で刑事局長出席

犯罪を計画段階で处罚する
「共謀罪」の趣旨を盛り込ん
だ組織的犯罪処罰法の改正案
が4月19日、衆院法務委員会
で実質審議入りしました。

「共謀罪」は過去3度国会
に提出されたものの「内心」を
取り締まり、思想・信条の自
由を侵す重大な危険性がある
ことから、国民の反対によつ
て廃案に追い込まれた経過が
あります。

そんな「共謀罪」法案をま
たもや持ち出し、何が何でも
今国会で成立させようとい
う安倍政権の姿勢は極めて異常
です。

委員会開会冒頭、与党は要
求もない政府参考人の林真琴
刑事局長の出席を、民進、共
産など野党の抗議のなか强行
議決するという、前代未聞の
対応をとりました。

答弁能力を与党からも不安
視される金田勝年法相に代わ
りて官僚答弁で乗り切ろうと
する、露骨な「金田隠し」の
姿勢を示しました。

マスコミでも「法案提出責
任者の法相が説明できないよ
うなものを出して、国民を納
得させようとすることは無理で
はないか」と報じています。

「共謀罪」法案は、犯罪が実
際起きていない段階でも2人
以上で「計画」し「準備行為」
をしたと捜査機関がみなせ
ば、取り締まり、处罚の対象
にするというものです。

これは近代刑法体系とは異
質の発想です。近代刑法で
は、犯罪によって具体的な被
害が生じた場合に初めて处罚
するということが原則で「心



質問する藤野保史議員

有志自らがサポートセンター
の運営にかかわり、町民活動
に新たな息吹をもたらそうと
することになりました。この
議論には教育長も一委員とし
て参加し、ほとんど実現寸前
まで話が煮詰まっています

ところが、第5回の運営協
議会に出席した前町長は、こ
の構想はもともと予算ゼロで
のスタートだったのだと強弁
し、「初めに予算ありきとい
う考え方はなじまない」など

と述べて、結局スタート時に
必要な初期投資すら否定し、
議会でも問題となり
ましたが、その中心にいたは
ずの教育長まで町長と歩調を
合わせ、「小さく産んで大き
く育てる」などとのべ、施

設・備品・人員も公民館にあ
ましい前進を遂げていただろ
うと思われます。

なぜなら、町民の自発性に
依拠し、町民自身が運営に関
わる独自のセンターを持つ点
に最大の特徴があり、町内
主要な団体で活動していた運
営協議委員自身がやる気にな
る既存のものを利用すると述
べるに至りました。町長一人
の問題ではなく、府内での意
思疎通を全く欠いた池田町役
場のあり方そのものが問われ
る問題でした。

前町長が描くサポートセン
ターのイメージは、結婚相談
が準備した方向で議論を重ね
てきたのに、実現寸前で頓挫
してしまうことになったので
す。

その後のサポートセンター

もし、サポートセンターが
運営協議会の議論通りに運
び、その運営が軌道に乗れ
ば、各分野の町民活動はめざ
めしい前進を遂げていただろ
うと思われます。

なぜなら、過去のこうした経
緯に目をつぶり、何ら総括す
ることなく新しい構想を装つ
て再スタートさせることは大
きな問題です。次号では、新
たな視点からこの問題を考え
貴重なものがあります。

しかし、過去のこうした経
緯に目をつぶり、何ら総括す
ることなく新しい構想を装つ
て再スタートさせることは大
きな問題です。次号では、新
たな視点からこの問題を考え
てみたいと思います。
(つづく)

コラム 有明

▼「池田町ガイドマスター
会」10周年を記念して「あ
ゆみ」が発行されました。

2006年に発足してから陸郷山桜トレッキング、北アルプス展望ウォーク、広津紅葉散策、ぐるっと池田街中散策など年間を通して観光案内をし、池田町を紹介してきた歴史が綴られています。▼鉄道の駅が無いばかりか国道も通りられない池田町ですが、北アルプスや安曇野の田園風景を展望するには、最も素晴らしい町です。ボランティアガイドの皆さんには、講習会や視察研修を重ね研鑽をつみ、おもてなしの気持ちで来訪していただける方に接していません。▼ガイドマスター会が総出で丸太の階段をつくり、コース整備をした陸郷山桜トレッキングは、4月15日募集180名がすぐキャンセル待ちになる人気で、県外の方も多く参加されました。▼桜の開花が間に合わずアルプスも見えないコンディションでしたが、気配りのガイドで事故もなく終了しました。桜餅や野点のおもてなしをしてくれた夢農場、観光協会、ガイドの皆さんに心から敬意を表します。